

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2449回 例会
平成24年6月8日(金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会長 伊藤 伸之

幹事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25
中川方 TEL/FAX 0465(62)3056
例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

今週の火曜日の5日に箱根ロータリークラブの創立50周年記念式典が行われ幹事の望月さんと出席してきました。16時30分から式典が始まり祝宴終了が20時20分で予定通りに終わりました。式典は和やかな中で行われ出席者のうち招待の方だけで約120名です。うち半数強の69名が台湾にある姉妹クラブの台北大同ロータリークラブのメンバーとそのご家族の方でした。通訳は米山奨学生である柳さんがされました。記念事業は50周年のテーマ「青少年の健全な育成と将来の夢」ということで学校へテント4幕、中学校へ吹奏楽器、サッカー少年団に公式ボールでした。ロータリー関係はロータリー財団と米山記念奨学会にそれぞれ20万円ずつです。創立時28名が現在は女性3名を含め39名です。在籍30年以上の会員2名が記念表彰を受けられました。祝宴は固定席で落ち着いて食する事が出来ました。アトラクションは弦楽4重奏と津軽三味線でした。ざわつかず大変素晴らしい祝宴と思えました。姉妹クラブの大同クラブの方々は前日来られ箱根クラブとして前夜祭を「ガラスの森美術館」で行い祝宴のあとまた2次会として懇親会を開く事になっていると聞きました。財力と体力が無いと出来ないと思えました。以上箱根ロータリークラブ記念式典、祝宴に出た感想を話させて頂きました。来週15日はモニュメントの除幕式と家族親睦旅行です。お忙しいところ宜しくお願い致します。

幹事報告

ガバナー

- 6月のロータリーレート 1ドル=80円
- 米山学友主催「クリーンキャンペーン」のお知らせ

本日のお客様

石田利正様 湯河原町消防署長

スマイルBOX

- 佐東丈介君 婦人誕生日(春美様6/11)
渡辺寿恭君 商工会ゴルフ大会優勝
望月博文君 商工会ゴルフ大会3位入賞
石倉幸久君 商工会ゴルフ大会無事終了(会長)
高杉尚男君 商工会ゴルフ大会無事終了(委員長)
常盤章夫君 101歳の母が6/7小田原私立病院で10年物のペースメーカーの入換え手術が無事終了(M43, 11, 3誕生)
杉山茂久君 ①湯河原信和会総会無事終了
②湯河原真鶴危険物安全協会の消火器訓練が無事終了
高橋延幸君 神奈川県長村議会の副会長に任命され、除幕式県知事に就任のご挨拶に行くため欠席、佐藤恵副議長が代理出席予定

出席報告	ゲスト 1名	ビジター 0名	
	会員 26名	欠席 2(2)名	出席率 100%
	前回の修正出席率 91.67%	前々回の修正出席率 87.50%	

ゲストスピーカー

湯河原消防署長 石田利正様

地震の避難対策

1. 巨大地震から命を守ろう

- ・阪神淡路大震災から学ぶ
- ・東日本大震災から学ぶ

2. 命を守る対策と行動

- ・普段から出来ること（自分で行動）
- ・どうしたらよいか何時も考えていること
（知識を生かす心構え）
- ・想定にとらわれない

3. あなたの安全は、避難することが第一

- ・地震の規模
- ・津波の高さ想定 ・がけ崩れ
- ・ハザードマップを信じるな

4. 地球の断面

- ・地盤：0 km～50 kmまで
- ・プレート：50 km～100 kmまで
- ・マントル：100 km～2900 kmまで
- ・核：2900 km～5100 kmまで

5. 地震が起きるのはなぜ

- ・プレートの歪み
- ・数cm～数10cm/1年
- ・活断層

6. 津波の高さと第一波の到達時間

- ・神縄、国府津—松田断層帯地震と元禄型
関東地震

津波の高さ：7, 2 m

（福浦地区のみ7, 8 m）

到達最速時間：10分

7. 一番大事なこと

- ・自分の防災なくして家族の防災なし
- ・人は大自然の前ではもっと謙虚になるべき

今般の東日本大震災では、太平洋プレートと北アメリカプレートの境界域（日本海溝付近）における海溝型地震で、震源域は、東北地方から関東地方にかけての太平洋沖幅約200 km、長さ約500 kmの広範囲に亘りました。今回、想定した歴史地震等については、フィリピン海プレートとユーラシア大陸との境界域地震に該当します。

過去に発生したことがわかっていながら、当時の知見で想定の対象外としたことの一理由は、具体的な防災対策の検討の元になる震度と津波高など地震像全体の再現が困難であったことによります。今後はたとえ地震像全体が充分解明されていなくても、想定対象地震として、活用することを検討していく必要があります。確からしさが低くても、地震・津波被害が圧倒的に大きかったと考えられる歴史地震については、十分考慮する必要があるからです。